

平成27年度 がん医療における在宅緩和ケア研修会

日 時：平成28年2月14日（日）午後2時00分～午後4時15分
場 所：奈良県立医科大学 厳樞会館3階大ホール
参加者：44名（うち医師 25名）

○講演会「がん医療における在宅緩和ケア」について

講師

全国在宅療養支援診療所連絡会副会長
鈴木内科医院（東京都大田区）院長 鈴木 央 氏



具体的な事例を交えた盛りだくさんの内容が好評でした。

[主なテーマ]

- ・がんの在宅医療の問題
- ・病院から在宅緩和ケアへの移行時期
- ・がん医療の連携と問題点
- ・家族の問題
- ・がんの在宅緩和ケア
- ・病期の予後の予測
- ・在宅での疼痛管理（副作用対策など）
- ・全人的がん疼痛
- ・在宅ケアにとって重要なこと

「できることをできるだけ」の気持ちが患者さん、家族、スタッフ全てにとって大切です。



○座談会「奈良県のがん医療における在宅医療のこれから」

座長

・地域連携・在宅医療部会長 吉川 高志 氏

パネリスト

・全国在宅療養支援診療所連絡会副会長 鈴木 央 氏
・緩和ケア部会長 四宮 敏章 氏
・緩和ケア部会、地域連携・在宅医療部会委員 加藤 久和 氏



吉川部会長の進行で、各パネリストの取り組みと参加者との意見交換が行われました。

[主なテーマ]

- ・昔と今の患者の違い
- ・24時間体制維持のための在宅ケアチームとの連携について
- ・情報共有の方法
- ・看護師が柔軟な対応ができる環境づくり
- ・24時間365日のバックアップ体制の構築
- ・疼痛管理の対応

